

環境デザイン学科カリキュラムツリー 2020年度入学生用

進路	建築		インテリア	ランドスケープ	その他	進学	
	設計・施工管理・営業・公務員・積算・出版		デザイン・設計・営業・家具職人	設計・コンサル・営業・庭師	留学・起業・事務	大学院	
	大手設計事務所・大手ゼネコン・建設会社・建材メーカー・大手デベロッパー・地方公務員・著名アトリエ事務所・中小設計事務所・工務店・地方公務員・積算事務所・建築出版社		大手デザイン事務所・建材メーカー・レディメード/オーダーメイド家具・中小デザイン事務所	大手設計事務所・大手コンサル・庭園材料メーカー・庭園職人・中小設計事務所・中小コンサル	ヨーロッパ留学・アトリエ事務所起業・総合職	本学大学院・他大学（国公立）大学院・海外大学院	
DP	人間力				創造力		
	知識/思考力		行動力/倫理観		発想力/構想力/表現力		
4	卒業研究・制作 4単位 4年間の集大成						
	8						
	7				環境計画VI 3単位 建築、インテ、ランドの専門性を深める		
					環境計画V 3単位 建築、インテ、ランドの専門性を深める		
3	6	構造計画 2単位 構造の実践	まちづくり計画論 2単位 地域・都市の計画	環境デザイン演習II 2単位 環境デザインにおける技術・知見の獲得		環境計画IV 3単位 建築、住宅、家具、庭園課題から選択	
		建築法規 2単位 法規について	建築積算・施工 2単位 積算・施工について	CADII 2単位 CG応用	庭園演習II 2単位 庭園での実践	環境計画III 3単位 建築、住宅、インテリア課題から選択	
	5	建築計画論 2単位 実例見学アドバンス		環境デザイン演習I 2単位 環境デザインにおける技術・知見の獲得		環境計画II 3単位 建築、住宅、インテリア、ランド課題から選択	7-キヤクスクールII 2単位 設計スキルの向上
	建築設備学 2単位 設備を実践の立場から	ランドスケープ計画論 2単位 ランドスケープデザインについて	CADI 2単位 CG応用	庭園演習I 2単位 庭園での実践	環境計画I 3単位 住宅課題、ランド課題から選択		
2	4	構造力学 2単位 構造の力学的側面	建築材料学 2単位 各種材料について			環境デザインIV 3単位 小規模な公共空間に取り組む	
		環境デザイン論II 2単位 ランドスケープとインテリア	環境工学 2単位 エコロジーと快適な環境	環境デザイン特講III 2単位 環境色彩計画と都市農村景観	環境デザイン特講IV 2単位 木造伝統工法の講義とワークショップ	環境デザインIII 3単位 集合住宅のデザインを体験する	
	3	環境保全論 2単位 環境保全に関する視点を学ぶ				環境デザインII 3単位 ランドスケープデザインを体験する	7-キヤクスクールI 2単位 環境芸術としての建築
	建築一般構造II 2単位 各種構造について	環境デザイン論I 2単位 住宅と建築	コンピュータ演習 2単位 CG基礎	7-プロフェッショナル研究 2単位 卒業生インタビューなどキャリア系	環境デザインI 3単位 インテリアデザインを体験する		
1	2					デザイン基礎IV 4単位 情報・思考実験・決断・定着の練習（建築）	
		建築史III 2単位 近代建築史・インテリアデザイン史	建築一般構造I 2単位 各種構造基礎			デザイン基礎III 4単位 模型表現・情報収集力を身につける	
		庭園史/インテリア・コーディネート 2単位 庭園史か、インテリア		環境デザイン特講II 2単位 自然環境要素の実例見学			
	1	建築史I 2単位 日本建築史	建築史II 2単位 世界建築史			デザイン基礎II 4単位 デザインプロセスとしての思考実験を体験	
	環境デザイン概論 2単位 教員の実践を紹介		環境デザイン特講I 2単位 建築・インテリア・ランドの実例見学		デザイン基礎I 4単位 製図・スケッチ・リサーチの基礎を学ぶ		

- 必修(講)
- 選必(講)
- 選択(講)
- 必修(演)
- 選必(演)
- 選択(演)

絵画基礎演習 2単位
彫刻基礎演習 2単位
専門英語

【1-c】カリキュラムマップ (環境デザイン学科)

芸術学部 ディプロマ・ポリシー			
人間力 自立したひとりの人間として 生きるための基盤の力	知識	人間、社会、自然等に関する知識・情報を体系的に収集・理解できる	
	思考力	正しい情報をもとに、物事を論理的に考えることができる	
	行動力	自らを律しながら、設定した課題に粘り強く継続的に取り組むことができる	
創造力 芸術の力を 社会のために活かす	倫理観	自らの良心に従い、社会のために芸術・デザインの力を活かすことができる	
	発想力	豊かな感性からの直感を、概念・イメージなどにまとめることができる	
	構想力	概念・イメージなどを紡ぎ合わせ、テーマ・仮説として練り上げることができる	
表現力	テーマ・仮説などを、様々な媒体によって可視化し提案することができる		

◎	DPを達成するために特に重要
○	DPを達成するために重要
△	DPを達成するために望ましい

科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	開講期	知識	思考力	行動力	倫理観	発想力	構想力	表現力
建築史I	必修	1・2・3・4	講義	2	前期	◎	◎					
建築史II	必修	1・2・3・4	講義	2	前期	◎	◎					
建築史III	必修	1・2・3・4	講義	2	後期	◎	◎					
庭園史	選択	1・2・3・4	講義	2	前期	◎	◎					
インテリアコーディネート	選択	1・2・3・4	講義	2	前期	○	◎	○				
環境保全論	必修	2・3・4	講義	2	前期	◎	◎					
環境デザイン論I	必修	2・3・4	講義	2	前期	○	○			◎	◎	
環境デザイン論II	必修	2・3・4	講義	2	後期	○	○			◎	◎	
建築計画論	必修	3・4	講義	2	前期	○	○			◎	◎	
まちづくり計画論	必修	3・4	講義	2	後期	○	○			◎	◎	
ランドスケープ計画論	選択	3・4	講義	2	前期	○	○			◎	◎	
建築一般構造I	必修	1・2・3・4	講義	2	後期	◎	◎			△	△	
建築一般構造II	必修	2・3・4	講義	2	前期	◎	◎			△	△	
環境工学	必修	2・3・4	講義	2	後期	◎	◎					
建築材料学	必修	2・3・4	講義	2	後期	◎	◎					
構造力学	必修	2・3・4	講義	2	後期	◎	◎					
構造計画	必修	3・4	講義	2	後期	◎	◎					
建築設備学	必修	3・4	講義	2	前期	◎	◎					
建築法規	必修	3・4	講義	2	後期	◎	◎					
建築積算・施工	必修	3・4	講義	2	後期	◎	◎					
デザイン基礎I	必修	1	演習	4	前期			○	○		◎	
デザイン基礎II	選択	1	演習	4	前期			○	◎	◎	◎	
デザイン基礎III	必修	1	演習	4	後期			○	◎	◎	◎	
デザイン基礎IV	選択	1	演習	4	後期			○	◎	◎	○	
コンピュータ演習	選択	2	演習	2	前期			○	○		◎	
CAD I	選択	3	演習	2	前期		◎	○	○			
CAD II	選択	3	演習	2	後期		◎	○	○			
アーキテクトスクールI (2020年度休講)	選択	2・3・4	演習	2								
アーキテクトスクールII (2020年度休講)	選択	3・4	演習	2								
環境デザイン特講I	選択	1	講義	2	前期	◎		◎				
環境デザイン特講II	選択	1	講義	2	前期	◎		◎				
環境デザイン特講III (2020年度休講)	選択	2・3・4	講義	2								
環境デザイン特講IV	選択	2・3・4	講義	2	後期	◎		◎				
庭園演習I	選択	3・4	演習	2	前期			◎				
庭園演習II	選択	3・4	演習	2	後期			◎				
環境デザインI	必修	2	演習	3	前期		○	△		◎	◎	
環境デザインII	選択	2	演習	3	前期			○	◎	◎	◎	
環境デザインIII	必修	2	演習	3	後期			○	○	◎	◎	
環境デザインIV	選択	2	演習	3	後期			○	○	◎	◎	

テーマ	授業概要	到達目標
日本建築史	日本建築史がある種の物語であることを理解した上で、日本列島において建築・都市がどのように成立し、時代とともに如何なる空間的・機能的展開を遂げたのかを述べていく。それとともに、その背景となる各時代の社会・文化や建築技術のあり方についても考えていきたい。	自分たちの身の回りに存在する建築や都市は、どのように成立・展開してきたのだろうか。その答えを、建築・都市遺構や文字・絵画史料を解読することにより見つけられるようになって欲しい。そのための基礎的な力を身につけることを目標とする。
世界建築史	文化、環境、社会、宗教に目を向けながら、建築の歴史的、文化的価値を多面的に理解する感性を養う。	代表的な歴史的建造物を見て、時代背景、様式、およびその建設年代を察知できる力を身につける。
近代建築およびインテリアデザインの思想と歴史	建築史全体における近代建築の位置づけを理解し、その特質を学ぶ。古代から現代まで、インテリアデザインの興隆の流れを概観する。	自分達が扱って立つ「近代」について、切実に見直し、その先を考えるきっかけとする。
庭園の文化史	人と自然と時間の共同制作である庭園の歴史と様式を学び、デザインの可能性を探る。	庭園の各様式の特徴を理解し、庭園設計・施工の基礎となるデザイン思想を身につける。
インテリアの要素と設計理念	インテリアの素材や造作に関する知識、設計にあたっての基礎的な考え方について概観する。	インテリアのエレメントへの積極的な興味を持ち、その設計理念の要点を理解する。
サステナブル・ディベロップメント	環境にまつわる諸問題と対処の考え、森林の保全、河川と流域環境の保全、公園資産の環境維持機能について学ぶ。	広範な環境問題の諸相を理解し、環境デザインの実践において必要な環境保全に関する知見を獲得する。
建築デザイン論	建築の役割、概念、方法を、具体的な事例にそって理解する。建築について考え、議論するための枠組みと、建築の実践を意味づけ、展開するための基礎を学ぶ。	建築の役割、概念、方法を、具体的な事例にそって理解することにより、建築設計の実践活動の基礎を習得する。
環境デザイン論II	(前半) ランドスケープデザインの史的展開と現代における実践 (後半) インテリアデザインの思想と手法	ランドスケープデザインおよびインテリアデザインの基礎的知識と考え方の習得。
建築の目的・機能と空間	ビルディングタイプごとに空間の分析・考察を行い、建築を秩序だてる方法を考える。	建築計画の可能性について考え、設計活動に有効な手法を習得する。
地域・都市の計画と環境デザイン	山や川等の自然、田園と村落、そして都市。これらは全てお互いに関連しあっている地域の姿を形づけている。そのような地域をどう理解し、計画するか? 基本的な考え方や具体例を示す。また、さ	まちづくりデザインが必要とされる社会の現状を知り、その基礎的デザイン手法を理解する。
近代ランドスケープデザインの展開過程	近代ランドスケープ誕生から現代までのランドスケープデザインの発展過程を、作品事例から学ぶ。	これからの人間が自然に向き合う姿勢とは何かを考えられるようになる。
建築をかたちづくる基本	歴史上節目とされる建築や近に見られる建築を題材に、建築の材料と構法に対する理解を深める。	建築を構成する基本的な要素、材料、構造形式に関する基礎的な知識を習得し、設計において活用できる能力を身につける。
素材と架構と空間特性	木質構造・鉄筋コンクリート構造・鉄骨構造など各種建築構造について、構造計画を行うのに必要な基本的事項を学び、空間に適した構造素材と架構形式の知識を習得する。	それぞれの構造・構法の特徴を理解し、建築・空間デザインの中に活かすことが出来る能力を身につける。
快適な建築環境	光・熱・音・空気・水といった環境要素の基本事項を学び、これらを建物内でどのようにコントロールすればより快適な環境となるかについて学ぶ。	建物内の光・熱・音・空気・水の諸現象への理解を深め、環境工学的な視点からの発想を空間デザインや快適性の創出に活かす力を養う。
建築材料の特性を知る	建築構造躯体の材料であるコンクリート・鋼材・木材の材料特性(製造法・品質・強度・耐久性など)について学ぶ。	建築業務の現場に必要な、建築材料に関する専門的知見を獲得する。
力学の基礎を学ぶ	造形デザインにあたって基礎となる構造力学を理解し、その知識を習得する。	造形デザインに必要となる構造力学の基礎を理解する。力のつり合いをモデル化し、応力図を描ける程度の能力を身につける。
建築の構造体を探求する	実際の建築空間を事例に、構造形式(鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、木構造など)や架構形式(組積造、アーチ構造、シェル構造など)について学習する。	基礎理論および不特定建造物の断面力算定法や崩壊荷重の基礎的な考え方について習得する。
建築の環境制御手法	空調設備・照明設備を中心に、建築設備の概要の理解、建築設備システムの要点、基礎知識の習得に努め、建築設備が建築設計とどのように関わり位置づけられているか理解する。	建物における設備システムの位置づけを理解し、よりよい生活空間・環境を設計・デザインするための基礎力を養う。
建築基準法と関連法規	建築基準法関連法規を具体的な事例を含め考察し、身近なものとしてとらえる。また、法律を通して京都の景観について考える。	建築と法令規制との関係を学び、より優れた建築を提案するための視点を養う。
建設における積算および施工の基礎知識	積算は、設計図書からいくらかで建設できるかについて、各部の材料の数量と単価、工事に関わる労務の価格に分解して理解することを目的とする。施工は、どのように建設するかについて、施工図書や工程計画の作成と工程管理の方法、各工事の特徴を通して理解することを目的とする。	建築施工・積算に関する諸業務を理解し要点を説明できる。各種工事の概要を理解し要点を説明できる。建築施工の今後について方向性を把握し要点を説明できる。
建築設計製図基礎1 一製図法	建築図面のトレースや模型制作を通じて、図面表記のルール・記号・図法を理解し、3次元の空間と2次元の図面間の変換の過程や方法を習得する。	製図法を習得し、建築設計の基礎となる図面表現を身につける。図面における線や寸法の意味を学ぶ。
身体スケールの環境デザイン	与えられた材料を用いて、自分自身のための椅子を実作する。家具の実作に不可欠の三面図や原寸図の描き方を習得する。	スケール感を体得する。デザインのプロセスやものづくりの苦しさ・楽しさを体験する。
建築設計製図基礎2 一空間分析	近代建築の巨匠が設計した住宅を自らの着眼点で研究・分析し、図面トレース・模型制作を通して今後の設計制作の礎を築く。	設計製図および表現技法を発展させるとともに、合評での効果的なプレゼンテーション技術を学ぶ。
住宅の設計	デザイン基礎IIIで学んだ空間構成の原理や手法を展開して、住宅を設計する。建築設計製図の基礎的技術を習得するとともに、敷地調査から計画、設計までの一連のプロセスを学ぶ。図面作成と模型制作を併用した計画手法と、第三者へのより正確な伝達表現を習得し実践する。	空間構成の原理や手法を実際の設計に応用できるようになる。住環境と人間の関係性を図面と模型にまとめ、第三者へ伝える能力を身につける。
デザインプロセスにおけるCADの可能性	CADソフトウェアと画像処理ソフトウェアとを利用して、製図・CGパースの基礎技術を学ぶ。更に、スタディ段階での活用など、デザインプロセスにおけるCADの可能性を探る。	コンピュータを用いた提案の特性を把握して、各自のデザインプロセスの中でどの様な位置づけに活用するかを考える。
CADを用いた設計製図の技法およびプレゼンテーション能力を養いながら、小規模な公共空間の設計を行う。	CADの機能を用いて、ハードラインの図面を仕上げるプロセスを理解する。小規模な空間を素材や照明を含めて計画し、CADソフトの2次元ツールおよび3次元ツールを用いて、必要な図面そのほかを用紙内に美しくレイアウトし、図面作品として仕上げる。	基本ソフトウェアの使用法を修得すること。パナプレゼンテーションの基本と応用を学び、実際に課題制作を仕上げる。
CADを用いた設計製図の技法およびプレゼンテーション能力を養いながら、公共建築物および外構の設計を行う。	CADの機能を用いて、ハードラインの図面を仕上げるプロセスを理解する。公共建築物および外構を計画し、CADソフトの3次元ツールを用いて、必要な図面そのほかを用紙内に美しくレイアウトし、図面作品として仕上げる。	基本ソフトウェアの使用法を修得すること。パナプレゼンテーションの基本と応用を学び、実際に課題制作を仕上げる。
環境芸術としての建築	建築家を志望する学生のための、建築家による集中授業。	建築家に必要な創造力・造形力を獲得する。
設計スキルの向上	建築家を志望する学生のための、建築家による集中授業。	建築家に必要な発想力・構想力を獲得する。
体験する環境デザイン	京阪神地区における環境デザインの実例および素材工場を見学する。建築・都市・ランドスケープ・インテリアが一体となった事例に焦点をあて、現代に求められる環境デザインへの理解を深める。	環境デザインの実例から、7つの領域を一体のものとして学び、環境デザインの社会的役割と可能性について知見を得る。
京都・奈良の自然景観	歴史文化の集積する京都・奈良における自然環境要素に焦点を絞り、フィールドの中で体感することを通じて、環境デザインを考究する。	京都の豊かな自然をフィールドに、外部環境の計画に必須である植物の特徴と生育環境についての基礎知識を身につける。
環境色彩計画と都市農村景観	2005年に全面施行された「景観法」は「美しく風格のある国土の形成」を提唱している。以来全国の都市で条例が制定され、京都市も2007年に歴史都市に相応しい風格の形成をめざして「新景観政策」を施行した。本授業では、新たな景観形成の要素となる「環境色彩計画」立案に必要な色彩の基礎知識と「環境色彩」の意義の理解。京都市の景観の現状調査及び分析、評価を通じて改善案を提案する。以上のプロセスから「環境色彩」の重要性を実践的に学ぶ。	環境色彩計画に必要な色彩学の基礎的な知識とともに、環境色彩の意義と手法を実践的に習得する。
日本の木造伝統工法について理解を深める	日本の木造伝統工法について、講義とワークショップを通じて学ぶ。伝統工法の軸組や仕込み、あるいは土壁などに関する講義と実習を行い、体験的に理解を深める。	日本の木造伝統工法について基本的知識を得る。日本の木造伝統工法について体感し、その知恵と工夫について身体を通じて学ぶ。
名園演習1	京都市内の庭園で造園技術の基礎を学ぶ。	名園を味わいながら、木造りや景観を創りあげていく喜びを感じ、造園技術の基礎を身につける。
名園演習2	京都市内の庭園で造園技術の基礎を学ぶ。	名園を味わいながら、木造りや景観を創りあげていく喜びを感じ、造園技術の基礎を身につける。
小規模商業空間の設計	賑わいあるいは安らぎの場となる小規模商業施設を構想し、図面や模型に表現する技術を修得する。	周辺環境を読み取る能力、自らの考えを構築する能力、そしてそれを図面や模型にまとめる能力を身につける。
街角のアースワーク	建築設計の基盤となる敷地造成の基礎技術を習得するとともに、敷地調査から計画、設計製図までの一連のプロセスとその表現法を学ぶ。	場から与えられる情報を読み取る能力、地形造形による新たな場の構築力、そしてそれを図面にまとめ、伝える能力を身につける。
集合住宅による居住環境の設計	外構計画や地域の環境形成にも配慮しながら、集合住宅による居住環境の設計を行う。設計者の構想を、図面と模型により的確に表現する。	居住環境についての理解を深め、場の情報を読み取る能力、自らの考えを構築する能力、それを図面にまとめる能力を身につける。
都市施設の設計	高密度な都市空間に立地する都市施設を設計する。都市の文脈を調査分析し、都市生活に求められる各施設内容をプログラムした上で、独自の空間造形に挑戦する。	建築計画・建築意匠上の諸問題や、建築と社会・環境との関わりを学び、それぞれの要求を満たす内容を表現する能力を獲得する。

